

四條畷市まちづくり長期計画（教育施設を含む）
策定に向けたまちづくり意見交換会〔第4回〕

- 日 時：平成26年9月23日(火・祝)19:00～
- 場 所：サン・アリーナ 25 多目的室
- 出席者：16名

<質疑応答>

- ・長期計画のまちづくりは重要な問題であるにもかかわらず、市長や教育長が出席していない。出席して直接市民の意見を聞くべきではないか。また、この人数は少なすぎる。本気で多くの方の意見を聞きたいと思っているのか？各地域で個別に開催すべきである。選挙管理委員会なら当日に投票を促すが、そういった取り組みは行ったのか？

⇒開催の周知については、平成24年の反省を踏まえ、これまでに市民会議を設置し、基本的な考え方を整理したうえで、子供に関係する団体等へ説明を行ってきました。PTA 協議会や育成協議会、民生委員協議会やスポーツ団体等で説明を行うとともに周知についても行っております。また、学校へ再度周知し、子供たちにチラシを持って帰っていただくことやPTA 会長を通じて周知も行いました。8月12日ごろには地域への回覧を行うとともに9月の広報でも掲載はいたしました。本日の出席状況だけをみると非常に少ない参加人数とはなっているが、できる限りの努力はしたと認識しております。

⇒市長、教育長の出席については、合計8回開催するすべてにおいて出席が難しく、バランスを考慮して欠席させていただいております。

- ・本日の資料については全世帯に配布すべきである。熟慮できない。会議の事前に配布すべきである。以前、市議会を傍聴した際、これら計画について必要な事業費を明かさなかった。財政が伴っての事業計画であり、もう一度事業計画をやり直すべきであると考えられます。

⇒事業費については、教育施設の統廃合とまちづくりを一体で検討すべきであり、短期中期長期の計画を立てていく中で、市民の意見をいただきながら計画を立てていきたいと考えています。その中で短期については、今年度末には事業費をお示しできるよう検討いたします。

- ・本日、行政側で出席している者、誰一人として知らない。もっと分かる者が説明すべきである。本日の資料については当然配布すべきであり、白黒印刷ではなくカラーにすべきである。配慮がなさすぎる。また、学校配置についても国道163号とJRを基軸としながら、一部はJRを横断する校区設定とされている。またこれらにより通学距離が遠すぎ

るように思う。

⇒校区については、国道 163 号と JR を基本に自治会や子供会の活動などを考慮し、地域の区長とも協議した結果の校区設定であります。現時点ではあくまで案であり、市民の意見をいただきながら校区設定に取り組んでいきたいと考えています。通学距離については、楠公地区から畷中学校への距離は約 2.5km、時間にして 40 分程度かかると見込んでいます。

- ・ 40 分は適正なのか？通学時間の適正時間はいくらなのか？本日の意見交換会の議事録はまとめられるのか？公表するのか？

⇒議事録については、基本は情報公開コーナーに置くこととするが、これ以上の具体的な方策については今後検討いたします。

⇒通学時間については、40 分とお答えしたがどこで線引きするかという決まりはありません。これまでの意見交換会でも通学時間が長くなるなど数多くの意見を頂いております。また、中野新町では目の前に西中学校がありながらなぜ畷中学校なのかといった意見もいただいております。自転車通学についても含め、今後検討を行っていく方針です。

- ・ 自転車通学は良いのか？その際、保険の負担はどうなるのか？

⇒これまでの説明会でも意見を頂いており、どう対応するのか今後の検討をいたします。校区再編については、意見を頂いた上で設定したいと考えています。

- ・ 小中学校へ回ってなぜ説明しないのか？中学 3 年生の受験生もいる中、簡単に廃校し学校をつぶしていいのか？子供たちの意見も聞いてほしい。現実をわかっていない人が多い。子育て世代の意向を踏まえていただきたい。

⇒本日のように少ない参加者では周知不足は否めない。これからもある意見交換会でいただいた意見を踏まえ、皆さんに改めて説明できる場を設けたいと考えています。

⇒転校については、十分に時間をかけて子供や教員に負担がないよう努めたいと思います。例えば中学 3 年生で一斉に移った方が良いのか、2 年生の時点から次の学校に移る、希望性にするなど、他市の事例等を踏まえ、柔軟に対応したいと考えています。

- ・ これら内容は子供たち本人に説明すべきである。

⇒正式決定ではないので今は説明できませんが、決まれば適宜説明していきたいと考えています。

- ・ これら長期計画について、何が決まっていて、何が決まっていないのか？

⇒これら説明内容はあくまで案として示しているもので、決定事項ではありません。この

ような方向で検討を進め、個々に説明は難しいので、市子連やPTAなどを通じて説明を行っているところです。

- ・ 現実、末端まで連絡が行き届いていない。個々の説明が必要に思います。
- ・ 全世帯への資料配布やカラー印刷は経費が掛かりすぎる。費用負担の小さい方法でお願いしたい。西中学校の温水プールについては、市内もないので早く着手していただきたい。8/10の台風による警報で社会施設が休館となり困った。公共施設の運用面について見直していただきたい。学校の再配置だけではなく、まちづくりにも取り組んでいただきたい。
⇒確かに8/10の台風により休館となった。これら施設の運用面については現在検討中であり、より良いものにしていきたいと考えています。
- ・ 開催については周知できていないと思われる。区長や市子連から末端まで行き渡っていない。また、地区長の意見が総意ではないので、2年前の教訓を踏まえていただきたい。このことから幼稚園の保護者まで一人ひとりにアンケートを取っていただきたいと思えます。次に、事前に転校することについて、希望性での危うさもあると考えられます。偏ってしまう可能性もあるので、再考していただきたい。次に、廃校になることに対して反対の意見が多いが、廃校となった全国事例なども調べていただき、知りたいと思えます。受験やいじめにどう影響するのかもっと事例が知りたいです。
⇒すべてにおいて今後の検討課題であると認識しています。転校については、今回お示ししているのは、あくまでも案であり、子供たちや保護者に対して負担が軽くなるよう努めます。全国事例については、まさに今、国が調査中であり今年度中には指針が出されると思いますので、皆さまにも示していきたいと思えます。
- ・ 統廃合は不安に感じます。各地域での個別の説明会をしてもらっても参加する時間が取りづらい人もいると思うので、アンケートであればありがたいです。小規模校に通う保護者の意見が知りたいです。
⇒小規模校について、教員の意見として、南小、東小、南中の管理職を通じて聞き取りを行っています。他のクラスがないので相談ができない、また先生の数が少ない中で役割分担が多く、運営が大変であるといった意見があります。

(以上)